

みしま 市議会だより

No.194

2021 11.1

今回の
定例会



9月定例会の
情報をお伝えます。



三島の昔の風景
…詳細は 15 ページをご覧ください

CONTENTS

決算審査	4
9月定例会 議案審議の概要	6
市政に対する一般質問	9
11月定例会のお知らせほか	15
議会報告会のお知らせ	16

令和2年度 決算

議会が ちエツク

市は予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。

決算審査では、前年度の予算の使い方が適切かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点を指摘し今後の予算や事業計画への要望を伝えます。

三島市議会では、総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会で計6日間にわたり審査を行い、9月定例会の最終日に各委員長が報告を行いました。その後、賛成・反対の討論を行い、賛成多数で「認定」しました。

本会議での委員長報告や討論の様子は市議会ホームページで映像を見ることができ、ぜひご覧ください。



【決算の概要】

■歳入歳出収支は12億296万円の黒字となりました。

令和2年度決算における4つの健全化判断比率が報告されました。三島市は全ての指標で国の基準を大きく下回り、**財政状況が健全**であることが示されました。

◎一般会計決算

収入	支出
514億2,115万円	502億1,819万円

◎特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	110億6,183万円	109億2,221万円
介護保険	81億3,875万円	80億9,788万円
後期高齢者医療	14億8,939万円	14億8,524万円
墓園事業	1,829万円	539万円
駐車場事業	24億7,223万円	24億6,572万円
合計	231億8,049万円	229億7,644万円

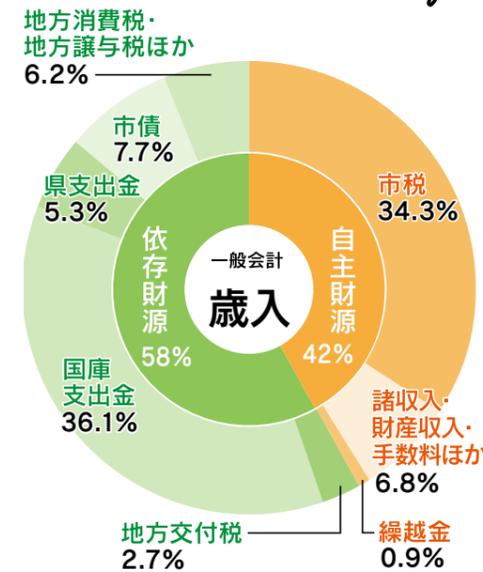
◎公営企業会計決算（水道事業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	15億7,102万円	12億8,097万円
資本的収支	2億4,506万円	7億3,919万円

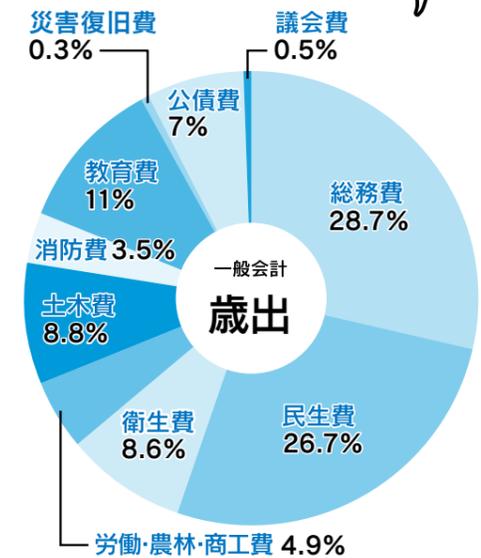
◎公営企業会計決算（下水道事業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	22億7,135万円	22億6,289万円
資本的収支	12億9,465万円	20億649万円

514億2,115万2,647円



502億1,819万1,771円



将来負担比率は、市債残高の増加などにより悪化しました。

- ※1 一般会計等を対象とした赤字の割合
- ※2 全会計を対象とした赤字の割合
- ※3 収入に対する借金返済額の割合
- ※4 将来に負担が見込まれる負債の割合

	実質赤字 比率※1	連結実質赤字 比率※2	実質公債費 比率※3	将来負担 比率※4
三島市				
平成30年度	-	-	5.6	10.6
令和元年度	-	-	5.2	19.4
令和2年度	-	-	5.3	29.2
早期健全化基準	12.33	17.33	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、三島市は赤字が生じていないため「-」の表示となります。



令和2年度決算と
9月定例会の流れ

3/31 令和2年度事業終了

4~5月 出納整理期間
3月で会計年度は終わりますが、光熱費などが4月1日以降に請求されるため、前年度の支払い等の整理期間があります。

6月 決算書の作成

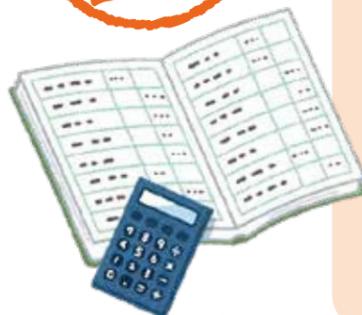
7月 監査委員による決算審査
監査委員が決算書や付属資料をもとに審査を行い、意見書を作成します。

9/7 9月定例会

9/9~9/16 委員会
決算審査 P4~5
3つの常任委員会です所管する各分野を専門的に審査する

9/21, 22, 24, 27 本会議
一般質問 P9~14
議案審議 P6~7
決算審査
委員長報告・委員会での審査経過や結果を報告
討論・採決前に賛成・反対意見を表明
採決

9/30 決算認定



経済建設委員会

9月9・10日

プレミアム付き商品券発行事業の工夫と検証

Q プレミアム付き商品券発行事業費補助金について、過去のプレミアム付き商品券の事業を踏まえた上で、今回どのような工夫がされたのか。また、結果についての検証状況はどうか。

A 今回はコロナ禍での事業であったため、三密を避けるため、事前申込による抽選方式を取った。また、市民にとって使いやすいものにするのがコロナ禍に対する景気対策として効果があると判断し、大型店等を対象から除外することはしなかった。

検証の結果としては、商品券利用の7割が大型店で、3割が中小事業者であったが、中小事業者への対策としては、ダブルチャンスとして500万円分を中小事業者でのみ使える商品券として抽選でプレゼントするほか、一部の商店街ではプレミアム付き商品券を利用された方に対して独自のプレゼントキャンペーンを行うなどの工夫がされたところもある。

中古住宅の流通促進の取り組み

Q 三島ぐらし住宅支援事業では中古住宅を診断して中古市場に流通させるということだが、実際にどのような流れで譲渡等につながっているのか。

A 中古住宅の流通にあたっては、住宅の品質がわからないため流通が進まないという問題があるので、既存住宅診断業務委託により、国の住宅診断の基準に沿って雨漏りや外壁のクラックなどの状況を調査し、品質を明らかにするようにしている。これを移住等につなげるため、三島市の「住むなら三島中古住宅情報サイト」というホームページに調査済の物件を登録するようにしている。令和2年度に診断を行った6件については、5件が売却済、1件がホームページに掲載中である。



総務委員会

9月15・16日

各常任委員会において、所管する各分野を詳しく審査しました。主な内容を紹介します。

防災訓練事業

Q 男女共同参画の視点に立った防災訓練事業の到達状況について、防災講座の開催や備蓄品など、女性に配慮した取り組みは行われたか。

A 東日本大震災以降、避難所運営では、女性を集めた懇談会などで、いろいろ意見を伺い、授乳室、更衣室、物干しスペースなど女性用スペースを設けることにいち早く取り組んできた。自主防災組織リーダー研修会を行う際は、可能な限り各自主防災組織から女性に1人以上参加していただくようお願いしている。備蓄品については生理用品が不足することを考慮し、全避難所の収容人数から対象年齢、日数を掛け合わせて13,600個ほど備蓄をしている。



夜間休日納税相談

Q コロナ禍の影響で経済的に苦しく、納税困難な市民は増加したと思うが、夜間休日納税相談の件数が減少している理由は。

A 全般的な傾向として、ここ数年、納付方法が多様化し、納付書が手元にあれば納付が可能という状況になっている。近くのコンビニやスマホ、スマホとクレジットカードを併用するモバイルレジクレジットなどで納付ができるため、現金をもって夜間休日に来庁するケースは減っていると考えられる。一方、日中の電話相談は非常に多く、納付交渉をしたうえで納付書を送付している。コンビニ納付等の件数は、約84,000件で、令和元年度に比べ、3,000件くらい増えている。

コロナ禍を考慮すると安心安全で便利な納付方法にシフトしたと考えている。

福祉教育委員会

9月13・14日

不登校児童・生徒に対応するスクールソーシャルワーカーについて

Q 不登校対策におけるスクールソーシャルワーカーの存在は重要なものであるが、三島市のスクールソーシャルワーカーはどのように学校の先生方と情報交換等を行っているか。

A 三島市のスクールソーシャルワーカーは、拠点校方式を取っており、市内5校を拠点としてそれぞれの学校・地域に応じて、対応する児童・生徒がいる所に出向く形を取っている。

情報交換に関しては、市の指導主事が研修等を実施する中で行っている。

また、スクールカウンセラーとの関わりも重要であるため、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが連携を図り、より良い形で児童・生徒に関わることができるようになっている。

拠点校方式のメリットは、学校の先生と密に情報交換ができ、連携がとれることである。

認知症患者に対する家族の接し方

Q 認知症患者が増加する中で、家族の接し方が認知症患者に与える影響が大きいと考える。

認知症患者の家族に対する研修等により日々の精神状態が安定することも考えられるが、そういった家族に対する支援の取り組みはあるか。

A 認知症カフェでの支援に加え、3年程前から家族の会を立ち上げオレンジリングの会と命名し、月に1度のペースで、集まる場を設けている。

家族の意見交換の場であるほか、成年後見制度等様々なテーマについて、講師を招いて、研修を行っている。

また、家族だけではなく、多くの人に知っていただくよう広報みしまでの特集による周知活動等にも取り組んできた。

さらに、認知症サポーター養成講座では、若い世代にも広めるため、小中学生を対象として、学校と連携した取り組みを行っている。

年間600人ほど養成している中で、令和2年度はコロナ禍の影響で半分ほどであったが、今後も力を入れていきたい。

令和3年 9月定例会

9月7日～9月30日
会期:24日間

今回の議案は…

市長提出議案24件
議会提出議案5件

**この号では次の項目を
Pick up!**

Pick up 1
(議第49号)
【令和3年度三島市一般会計補正予算(第5号)】(賛成多数)
■補正予算額
13億6,476万6,000円
(議第61号)

【令和3年度三島市一般会計補正予算(第6号)】(全会一致)
■補正予算額
8,485万6,000円

Pick up 2
(発議第2号)
緊急事態宣言下における中小企業等への支援強化を求める決議

Pick up 3
(議第4号)
三島市議会ダイバーシティ推進検討特別委員会の設置について

Pick up 4
(議第5号)
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



Pick up 1
一般会計予算を増額補正

市内経済の活性化を目指して

○PayPay連携事業委託料
1億5601万6千円

コロナ禍の影響により、売り上げが落ち込んだ市内事業者に対する支援や、市内経済の消費活性化を目的として実施した、PayPay連携キャンペーンにかかる経費を追加します。

主な質疑

質疑 1カ月でキャンペーン中止となった原因と、加盟店舗や市民への対応は

答弁 本事業における予算超過および早期終了となった主な原因

は、三島市におけるPayPay利用率が急激に増加したこと、近隣の他自治体において同様のキャンペーンが実施されており消費者への認知が高まっていたことなどの複合的な要因により、三島市で実施する時点で、利用者が当初の見込みを大きく上回っていたのではないかと思われる。

また、加盟店舗等への対応については、受託者から加盟店舗に通知やメールを送付するとともに、アプリ内での通知のほか、三島市ホームページやSNS、市民メール等での告知をした。報道機関への依頼も行うなど、あらゆる面か

ら周知に努めた。その結果、早期終了の告知日以降、加盟店舗や消費者からは大きな混乱を招いたという意見はなく、おおむねご理解いただいたと認識している。

質疑 店舗規模による利用割合と取引額の伸び率について

答弁 キャンペーン実施期間中における大型店舗やチェーン店での利用割合は約8割、中小規模の店舗では約2割と報告を受けている。

取引額における前月比の伸び率で見ると、大型店舗等で3.8倍、中小規模の店舗でも3.7倍と、中小規模の店舗においても大型店舗等と同規模の伸び率となっており、ともに事業効果は十分あったものと考えている。

主な質疑

○テレワークオフィス利活用推進事業費補助金 1200万円

サテライトオフィスの開設やテレワークを活用した取組等の支援にかかる経費を補助します。

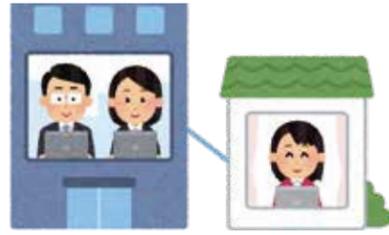
質疑 制度の趣旨と該当者の見込みは

答弁 地方でのサテライトオフィスの開設やテレワークを活用した移住・滞在の取組等を支援することにより、地方への新しい人流の創出を目的としている。市外からの企業誘致や移住促進に直結する取組が対象となる。

今回の国の交付金を活用して市が考える移住促進事業を民間事業者とともに実施できないか、事前

にサウンディング調査を行った結果、趣旨に賛同し補助金事業に手を挙げる事業者の見込みは十分であると判断している。

なお、事業者の選定については、公募により行っていく予定である。



質疑 空き家対策との連動は

答弁 三島市が実施する空き家対策と地方創生テレワーク交付金を活用したテレワークオフィスを、サテライトオフィスの開設を連動させることについて、立地場所や規模などから難しい面もあるが、試験的な移住施設としての活用方法や、移住希望者に対し、条件に合致した空き家を提供できないかなど、今後関係課や民間の不動産事業者等と積極的に協議していきたい。

○中小企業等応援補助金 3030万円

まん延防止等重点措置および緊急事態措置に伴う休業要請・営業時間の短縮要請等の影響を受けた市内中小企業の事業継続を支援する目的で、一定程度売り上げが減少した中小企業等に支援金を給付します。

主な質疑

質疑 申請の流れと給付時期は

答弁 県応援金等の給付を受ける事業者に対しての上乗せ支援であり、三島市においては10月中旬には申請が可能になると考えている。

申請方法は原則郵送での申請を想定しており、申請書等の必要書類のほか、売り上げ減少額の確認として、県応援金や国の月次支援金の支給決定通知書の提出をもって代用するなど、必要書類の簡素化を図り、事業者の負担軽減につなげたい。

申請期限や給付時期については、事業者にとって余裕のある期間を設け、申請後速やかに給付ができる体制を整え、決定次第ホームページ等で周知していく。

〈その他、歳出の主な内容〉

●財政調整基金積立金	2億5,000万円
●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3億5,040万円
●施設補修事業(ごみ焼却処理施設等)	5,000万円
●一般橋梁整備事業	△5,271万円
●下土狩文教線建設事業	1億8,300万円

人事議案

【三島市教育委員会委員】
草間 路代氏

Pick up 2
発議第2号

**緊急事態宣言下における
中小企業等への支援強化
を求める決議**

コロナ禍により経済的に疲弊する事業者等に対し、市独自の支援を図るため、三島市議会として、「緊急事態宣言下における中小企業等への支援強化を求める決議」を可決しました。

Pick up 3
発議第4号

特別委員会の設置

三島市議会において、多様な人材が議員として議会活動を円滑に行うことができるよう、必要な条件および配慮等について検討することを目的とし、三島市議会ダイバーシティ推進検討特別委員会を設置しました。

〈委員長〉 鈴木 文子
〈副委員長〉 甲斐 幸博
野村 諒子 岡田 美喜子
石井 真人 大石 一太郎
河野 月江

Pick up 4
発議第5号

意見書の提出

新型コロナウイルス感染症のまん延により厳しい状況にある地方財政において、財源を確保するため、地方税制の充実確保等を主要望事項とした、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を可決し、関係機関に提出しました。

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは...

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。
16人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

他の質問事項
循環バスせせらぎ号の片側運行問題の解決を

他の質問事項
循環バスせせらぎ号の片側運行問題の解決を



① 県の試算では、施設維持に今後30年間で約16億円が見込まれる施設であり、市が継続して健康センター等として利活用することは難しいが、県においてさまざまな検討が進められていると聞いているので、その結果を注視しながら、市の意向や考え方を伝えていく。

② 県は多くの市民が利用する同センターを今年度末に閉館させる可能性がある。複合化など負担を増やさず市が継続する考えはないか。

③ 最も盛り土の規模が大きい箇所の違反者には、法面の勾配を緩やかにするなど市条例に基づく土砂流出防止策を指導している。目視点検では崩壊する危険性は見受けられないが、万が一、土砂が流出した場合には大きな被害も想定され、早急な解決を要する。

④ 市域3分の2が箱根の山である本市にも、条例違反の盛り土があるというが、どのような状況と認識しているか伺う。

熱海市伊豆山土砂崩れを受けて三島の状況は



佐野 淳祥
(緑水会)



他の質問事項
市内中学校の制服見直しに伴う生徒への配慮

他の質問事項
市内中学校の制服見直しに伴う生徒への配慮

① タワー棟上部への展望スペースの設置は、設置・運営に要する費用を考慮すると、実現は困難であるが、カメラやモニターの設置などのソフト対応も含めて、眺望を共有するための仕掛けづくりについて事業関係者と協議・検討を行いたい。

② 三島駅南口東街区再開発事業にて整備されるタワー棟からの眺望を多くの皆様と共有するための仕掛けづくりを検討してはどうか。

タワー棟からの眺望共有の仕掛けづくりを

③ 本市では、スマート市役所宣言を行い、Web広告を活用したデジタルマーケティング事業に取り組んでいる。今後も、配信エリアや対象、期間などを精査して「届けるべき人に届く」情報発信を目指し、デジタルマーケティング事業を積極的に推進していく。



④ 移住定住や観光などリニールしたホームページを通じて三島の魅力を発信するため、Web広告をより積極的に活用してはどうか。

届けるべき人に届けるWeb広告の積極的活用



宮下 知朗
(新未来21)



9月定例会 議決結果

(全会一致となった議案)

議案番号	件名	結果
承第6号	専決処分の報告及び承認について(令和3年度三島市一般会計補正予算(第4号))	承認
認第5号	令和2年度三島市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第6号	令和2年度三島市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第7号	令和2年度三島市水道事業会計決算認定について	認定
認第8号	令和2年度三島市下水道事業会計決算認定について	認定
議第47号	令和2年度三島市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第48号	令和2年度三島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第50号	令和3年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第51号	令和3年度三島市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第52号	令和3年度三島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第53号	市道路線の認定について	可決
議第54号	三島市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議第55号	三島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第56号	三島市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議第57号	三島市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決
議第58号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第59号	三島市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第60号	三島市教育委員会委員の任命について	同意
発議第2号	緊急事態宣言下における中小企業等への支援強化を求める決議	可決
議第61号	令和3年度三島市一般会計補正予算(第6号)	可決
発議第3号	三島市議会会議規則の一部を改正する規則	可決
———	三島市議会 ICT 推進検討特別委員会調査結果(委員長報告)	可決
発議第4号	三島市議会ダイバーシティ推進検討特別委員会の設置について	可決
発議第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決

(賛否が分かれた議案)

議案番号	件名	結果	緑水会				新未来21		公明		政和会		改革みしま		日本共産党議員団		無党派							
			大房正治	松田吉嗣	野村諒子	中村仁	佐野淳祥	甲斐幸博	岡田美喜子	川原章寛	宮下知朗	堀江和雄	鈴木文子	村田耕一	大石一太郎	古長谷稔	沈久美	藤江康儀	土屋利絵	石井真人	服部正平	河野月江	杉澤正人	佐藤寛文
議第49号	令和3年度三島市一般会計補正予算案(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
認第1号	令和2年度三島市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○
認第2号	令和2年度三島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○
認第3号	令和2年度三島市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○
認第4号	令和2年度三島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○

※ ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。



村田 耕一
(公明)



市営住宅申込時の連帯保証人確保条件の緩和
Q 市営住宅申込時の連帯保証人確保ができない場合、家賃債務保証制度の導入により指定業者と契約すれば入居可能にならないか。

A 他自治体の状況を踏まえつつ、制度の運用方法や事業者の選定方法などを精査する中で、早期に事業者の公募を開始していきたい。連帯保証人を用意することが困難な方にも市営住宅を提供できるようにすることで、安心して生活してもらえよう努めていく。



75歳以上の方に無料認知症検診ができないか
Q 認知症は早期発見、早期治療に結び付けることが大切であるが、医療に結び付けることが難しい中で無料の認知症検診の検討は。

A 認知症の検査は、受けることに抵抗がある方もおり、健康診査と同時に行うことで抵抗なく受けられるようになることもあると考えられるが、検査方法やスクリーニング後の支援体制など、医療機関や関係課との調整も必要と思われるため、調査研究をしていく。

他の質問事項

東街区再開発事業の県の都市計画との整合性



河野 月江
(日本共産党議員団)



三島駅南口東街区再開発の見直し内容を問う
Q 事業の費用対効果を示す費用便益比について、現実的データに基づき再検証し、市民に明らかにする必要があるのではないか。

A 交付金制度の運用上、費用便益の再算定は想定していないが、社会変容や市民意見を踏まえ、計画を見直しながら、本市の持続的な発展、市民の皆様にご喜んでいたける事業となるよう、実際に発生する便益が最大化することに注力していくことが重要と考えている。



7月2日からの大雨による被害と今後の対策

Q 日報では、一部樋管で操作開始時水位が操作要領に定める水位を大幅に越えていたが、水門操作に至る過程で市の課題はなかったか。

A 短時間の激しい雨と急激な河川水位の上昇により、樋管等の操作を行ったが内水排除には至らなかった。より早い連絡、監視、操作の体制づくりが必要なため、樋管の内水側に水位センサーや監視カメラを設置し情報共有を図るとともに、操作水位の見直しを行う。



古長谷 稔
(政和会)



再開発ビル屋上は展望スペースに活用可能か
Q 商工会議所からの要望を踏まえ、渋谷スカイの事例のように屋上を展望スペースとして活用できないか、検討経過と概算費用を伺う。

A 屋上展望スペースの実現性は低いと見込まれるため、詳細な検討は行っていない。屋根のない屋上は建物の共有部分であるため、運営者単独での所有・運営は困難であること、専用エレベーター設置等に10億円余を要する見込みであることなど、実現は困難と考えられる。



夏休み明け学校再開とGIGAスクールの現状

Q 緊急事態宣言下での学校再開に対し、感染拡大防止と学びの保障の両立に向け、どんな考えで進めたのか、今後どう進めていくのか。

A 感染症対策の徹底を図り、学校を再開した。感染不安を感じ、登校を控えたい児童生徒には、一人一台端末を用いてオンライン授業を実施し、学びを保障することを考えた。今後も、特別な事情がある場合には、個別の状況に応じてオンライン授業を継続する。

他の質問事項

7月大雨被害を踏まえた設備増強と運用改善



大石 一太郎
(政和会)



箱根西坂地区観光等整備計画の策定が必要では
Q 西坂地区の変化に対し、地域の自然・歴史・農業・観光等を活かした土地利用の基本方針と体系的な整備計画の策定が必要な時では。

A 2022年以降に策定する三島市観光戦略アクションプランの中で箱根西坂における地域振興策を重点施策として位置づけ、点在する観光施設と地理的特性を生かし、官民連携による観光振興および地域振興を図っていきたくと考えている。

三島総合病院産科救急中止の課題

Q ハイリスク分娩への対応など安心して産める医療体制に向け周産期センターが整備されたが、令和4年1月に中止される。今後の対応と補助金返還は。

A 今後のハイリスク分娩および救急医療への対応は、現在の医療機関体制でカバーできることを近隣医療機関などと確認している。また、周産期センターの施設や機器の今後の活用、交付した補助金については、県と連携を取り、総合病院と現在協議している。



他の質問事項

県総合健康センターの今後の跡地利用は



甲斐 幸博
(緑水会)



放課後子ども総合プランの取り組み
Q 放課後児童クラブおよび放課後子供教室の取り組みの現状は。また、放課後子供教室と地域学校協働本部との連携をどう考えているか。

A 公設児童クラブは、各小学校区に24館設置し遊びや生活の場を提供し、利用者ニーズの高いサービス実現に向け民間活用を検討している。子供教室は、地域学校協働本部へ事業の周知を図り理解を得る中で、コーディネートを担っていただき、定期開催の環境を整えていく。



シビックプライドを醸成させる取り組み

Q まちに対する住民の誇りや、まちのために自ら関わっていくこうとする気持ち「シビックプライド」をどのように育てていくのか。

A 第5次三島市総合計画では、市民の皆様や地域が主役となって創り上げる新しいまちづくりの実現に向け、意識の醸成を図ることと定めており、条例、計画等の策定時はもちろんのこと、さまざまな施策、事業の実施にあたり、この考え方を浸透させていきたいと考えている。

他の質問事項

地球温暖化対策の取り組み



土屋 利絵
(改革みしま)



子ども配食支援事業の無料化

Q 必要な支援に結び付けていくことを目的に、1食200円で子どもたちにお弁当を届けているが、無料にしていく可能性を伺う。

A 1食200円の利用者負担については、受益者負担の観点および保護者の方にお子様のお食に対するの関心を持ち続けていただきたいという思いからご負担いただいているものであり、この趣旨についてご理解をいただきたい。

三島駅南口東街区再開発事業について

Q 健康と医療の拠点にしていくために、三島市は現在どのような思いで話し合いに参加し、どのような理想を描いているのか伺う。

A 市民の皆様の思いを具体化する事業にする、との思いをもち、事業を推進している。市と事業協力者の相互の信頼関係のもと、にぎわいづくりの拠点にふさわしい姿を共有しながら、実現に向け取り組んでいくことが重要と考える。





堀江 和雄
(公明)



地域公共交通バス東大場分譲地線について

これからのバス路線について町内会・自治会の方との懇談がなされてきたが、令和4年度の運行形態と今後の課題を伺う。

町内会の意見を参考にしたルートを市の自主運行で、平日の朝と夕方はバス、平日の日中および土日祝日はジャンボタクシーで運行する予定。今後の課題は、公共交通を維持するために、地域が主体となった取り組みを地域とともに考えていくことと認識している。



奨学金返還支援制度について

制度の趣旨・目的・対象・返還の仕組みと令和3年度の利用予定状況を伺う。

若者のUターンや定住促進、人材確保を目的とし、本市出身で大学等卒業後、市内の中小企業に正規雇用されていることなどが要件となる。交付対象者として認定後、1年ごとに申請し、5年間で最大60万円を交付する。令和3年度の交付件数は6件となる見込みである。



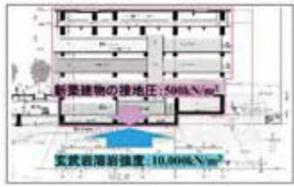
杉澤 正人
(無党派)



地下水検討委員会公開資料について その1

溶岩強度が高層物の接地圧との比率において20対1であるから安全と説明がなされたが、比率に基づいて安全性判断の根拠は何か。

一軸圧縮試験での4つの検体のうち、一番小さな値を示した溶岩の強度から地盤の耐力を計算したところ、建物の接地圧(建物の重量)に対し、地盤の耐力が上回っていることが確認されている。建物接地圧と地盤耐力の比率により判断しているものではない。



地下水検討委員会公開資料について その2

一軸圧縮試験ではわからない地下構造の脆弱性(ひび割れ・空洞・断層他)に関する調査資料は存在するものか伺う。

これまでに実施した地盤調査結果等を踏まえて、今後、実施設計や構造計算が進められる。耐震性を含めた直接基礎の妥当性については、事業の進捗に応じた段階的に検討することとしており、今後の地下水対策検討委員会で耐震性の確認を行っていく。

他の質問事項

溶岩層・粘土層構造の調査手法



石井 真人
(改革みしま)



楽寿園へのPark・PFIの導入を

民間活力によるPark・PFI制度の導入状況と、園内を無料エリアと有料エリアに区分し、西門と南口を開放できないか伺う。

Park・PFI制度の検討については、民間参入や入園無料化に影響するため、今後慎重に研究していく。有料・無料エリアの区分および西門・南口の開放については、園周辺の新たな方向性が示されたら、楽寿園運営委員会のご意見を伺いたいと考える。

県総合健康センターの今後の利活用を

災害時の指定避難所としての今後の在り方や、感染症発生時の臨時医療施設としての活用が考えられるが、三島市としての方針は。

静岡県では広域的な医療体制についてさまざまな検討がされており、緊急時の利用には、県医療救護計画との調整や、ヘリポート、災害拠点病院の三島総合病院との関係、関係団体との連携等の課題があることを、県に意見を求められた際には伝えていく。



他の質問事項

県総合健康センターを三島市で維持できないか



沈 久美
(政和会)



断捨離と終活の身近整理がしやすい三島へ

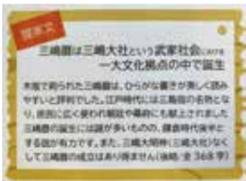
家庭の不要物を思い切って一掃する断捨離がよりスムーズに行えるよう、衣類等回収ボックスの増設を求めたい。見解を伺う。

拠点回収場所からの衣類の収集を業務委託しているため、一度に多くの増設は難しいところであるが、自治会からの要望があり、放火や持ち去りをされないよう回収ボックスを適切に管理できる設置場所を用意していただければ、増設について検討していく。

三嶋厓を北条義時に関連つけてPRするには

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」主人公・義時への注目を契機に三嶋厓との関係を模索しPRにしたい。提案文について見解を伺う。

三嶋厓の成立については、その時期など現時点では正確な史実はわかっておらず、今後、新しい史料が発見される可能性もあり、見解は控えさせていただきます。三島市郷土資料館では、その成立は室町時代初めまで遡ることができ、江戸時代には三島宿のお土産となったと紹介している。



他の質問事項

国の子ども庁創設動向と市の子ども部局編成



岡田 美喜子
(新未来21)



地域コミュニティとしての商店会の在り方

商店会の解散や加入者の減少、長引く市民の自粛生活に、商店街に閉塞感がある。商店会の意義と今後の目指すべき姿について伺う。

商店街は、商品を購入するだけでなく、公共的な役割も果たすコミュニティの担い手となる存在であると認識している。魅力ある個店の連たんにより歩いて買物を楽しむエリアとして消費者に必要とされ経済活動を生み出す空間となること重要であると考える。

住民目線のハザードマップへ

土砂災害警戒区域や避難所等が示されているが、自治会名の表記や色など、地図が苦手な人にも見やすいものに検討できないか。

ハザードマップは、避難所となる学校や地区集会所、幹線道路、駅などの位置を表示し、自宅の場所を容易に確認できるようにしているが、次回の更新等の際に、現状よりも見やすく、慣れない方が見てもわかりやすくする方法がないか、受注業者等とも検討する。



他の質問事項

通学路の安全点検と暴風雨時の登下校の安全



藤江 康儀
(改革みしま)



大規模土砂災害を教訓に防災体制の強化を

山林等の伐採による太陽光発電システム設置許可の許諾の認識および設置計画申請の有無について伺う。

国が宣言した2050年までに脱炭素社会の実現を目指すには、再生可能エネルギー設備が必要不可欠である。今年度中に箱根西麓の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業の調和に関する本市の方針を確定していく。大規模な太陽光発電事業の相談はない。

防災減災等のための都市計画の改正を

災害レッドゾーンやイエローゾーン区域の建設物の建設を都市計画の改正等により居住誘導区域に緩やかに誘導を図ってはどうか。

三島市立地適正化計画では、居住誘導区域にいずれのゾーンも含めておらず、20年間で緩やかに区域内に居住誘導し、よりコンパクトなまちづくりを進めていく。引き続き本計画やハザードマップの市民周知に努め、頻発・激甚化する自然災害に対応していく。



ご存知ですか？

議員の寄付は禁止されています

公職選挙法により、議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことや、有権者が議員に対して寄付を求めることは禁止されています。また、議員が年賀状などのあいさつ状を出すことも禁止されています。(答礼のための自筆によるものは除きます。) 市民の皆さまのご理解をお願いします。



※議員本人が結婚披露宴や葬式等に自ら出席し、その場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。



鈴木 文子
(公明)



コロナウイルス感染者自宅療養支援について

これまででは保健所のみの対応だったが、保健所と連携し本市でも、自宅療養者等に対する支援体制を整えるべきと考えるがいかがか。

A 自宅療養者の療養期間は最大2週間に及ぶため支援が必要と考えている。市としては、保健所との協議で決定した、自宅療養者および濃厚接触者への弁当の配達や、自宅訪問による安否確認、その他保健師の派遣等必要な支援について、速やかに対応していく。

ACP「人生会議」推進の取り組みについて

Q 元気なうちから自身が希望する治療やケアについて、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合うACP推進が必要ではないか。

A 身近な人達との対話を重ねるACP、いわゆる人生会議を行うことは本人、家族にとって大変重要であると考え。本人、家族への普及啓発に加え、医療やケアチームなど支える側の強固な連携体制により、ACPが推進できるよう引き続き取り組む。



服部 正平
(日本共産党議員団)



「デジタル化」による個人情報保護

Q 国は「デジタル関連法」を新設した。法成立の中で大きな課題としては個人情報の取り扱いであった。市の対応はどのようになるか。

A 令和5年度から、デジタル関連法により改正された個人情報の保護に関する法律が全国共通のルールとして適用されることとなるが、市の個人情報保護行政が現行よりも後退することはないと考える。今後とも、国によるガイドライン等を踏まえ、厳格に運用していく。

加齢性難聴者への補聴器購入の支援

Q 難聴は認知症等生活面でのリスクとなる事は、当局と見解が一致している。令和元年6月定例会で調査研究するとしたが、進捗状況は。

A 全国市長会では、令和2年6月に加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設することを厚生労働省に対し要請している。県内で補助制度を実施しているのは2市1町である。引き続き県内の状況や国等の動向を注視しながら、調査研究をしていく。



11月定例会のお知らせ

- 11/25(木) 本会議(議案審議)
- 12/2(木)・3(金)・6(月)・7(火) 本会議(一般質問)
- 8(水) (一般質問予備日)
- 12/10(金) 本会議(議案審議)

いずれの日も午後1時からの開会予定です。日程は変更になる場合があります。

スマホでも、タブレットでも / 市議会ホームページをご覧ください

「議会映像」をクリックすると、市議会の本会議を見ることができます。「ライブ中継」は本会議の開催日にリアルタイムで、「録画映像」は24時間いつでも見ることができます。「録画映像」の公開は本会議の約1週間後からです。



表紙の写真はどこでしょう？

表紙の写真は箱根旧街道の松並木を撮影したもので、昭和初期に撮影されたものと考えられています。現在も三島市内に残る唯一の松並木で、国道1号の五本松の信号付近から塚原新田方面へ向かい、1km程度続いています。上下線に分かれた上り線が旧街道です。また、今号の表紙の三島柄は、古典柄の「連珠文」と新柄の「三嶋大社」を組みあわせています。柄を連続して並べることで可愛らしく、美しい印象を受けます。伝統的なものでも現在に通じる魅力がありますね。



議会だより編集委員会

委員長：宮下 知朗 副委員長：沈 久美 委員：甲斐 幸博、村田 耕一、石井 真人、河野 月江、佐藤 寛文

議会の活動

7月

- 6日 各派代表者会議 ICT推進検討特別委員会
- 13日 議会報告会運営会議
- 14日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 28日 ICT推進検討特別委員会
- 29日 議会運営委員会

- 19日 各派代表者会議
- 23日 ICT推進検討特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 議会報告会運営会議
- 31日 各派代表者会議 議会運営委員会

- 9・10日 経済建設委員会(決算審査)
- 13・14日 福祉教育委員会(決算審査)
- 15・16日 総務委員会(決算審査)
- 17日 議会報告会運営会議
- 21・22・24・27日 本会議(一般質問)

8月

- 11日 ICT推進検討特別委員会 議会運営委員会

9月

- 7日～30日 9月定例会
- 7日 各派代表者会議 本会議(議案審議) 議会だより編集委員会

- 22日 各派代表者会議 議会運営委員会
- 30日 本会議(議案審議) 議会報告会運営会議

あなたの 声が 聞きたい

for 市民
議会報告会

11/9から4つのテーマで  YouTube





 OK! いずれも
 ご意見の受付は12/12まで

WEB報告会の視聴方法
QRコードを読み取り、案内に
そって各委員会の動画を選択、
ご覧ください。



議会報告会は常任委員会が各テーマにおける議会の活動を報告し、市民や関係団体の皆様から直接意見を聞くものです。今年は新型コロナウイルス感染防止を考慮し、WEBで報告します。**YouTube**の公式チャンネルをご覧になり、**ご意見・ご感想をお寄せください。**

総務委員会

男女共同参画

これからの男女共同参画社会をどう進めるか。
今回は、① 政策決定過程への女性参画拡大
② 職業生活における女性の活躍推進
③ 家庭における男女共同参画の推進
について考えていきます。



福祉教育委員会

高齢者の日常生活における地域福祉の課題 高齢者への寄りそい方

三島市の高齢化率は29.4%。高齢者への寄り
そい方について身近なことから考えましょう。今
回は地域共生社会のモデル地区・徳倉の事例や、
伊豆市にある施設の取り組みも紹介します。



経済建設委員会

下水道の料金改定と 広域化

下水道料金は、令和6年度に30%値上げを予
定しているほか、国の要請に基づき広域化の検
討がされています。下水道の今後のあり方につ
いて、ぜひ皆様のご意見を伺わせてください。



議会運営委員会

議会基本条例の検証

「議会基本条例」とは、議会活動の原則など、議会の基本的な事項を定めた条例です。平成31年に、三島市議会はそれまでの議会改革のまとめとしてこの条例を制定しました。今回は、施行から3年目を迎えて初めて実施した議会基本条例に沿った取り組みの検証内容をお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度も会場での報告会方式は中止しました。